

足尾・ふるさとの森づくりに参加しました

NPO法人森びとプロジェクト委員会は、栃木県日光市足尾町の旧銅山地域でふるさとの森づくりを行っています。2004年の設立以来14年間で植樹された木々は7万本以上にもなります。足尾地区は、草木ダムと渡良瀬川の水源地域でもあることから、草木ダム管理所の職員もこの活動に参加しています。

今年は、5月19日（土）に300人以上が集まり、合計で20種、3000本以上が植樹されました。植樹の作業は、銅山開発に伴い荒廃した山肌に様々な種類の苗木を植え、竹竿で固定し、最後にマルチング材として杉皮のチップや籾殻を敷き詰めていくというものでしたが、強風の中、皆で協力し合いながら午前中の2時間ほどで全ての作業を完了しました。

また、ゴミをできるだけ減らすためリユースの食器を使用するなど、昼食においても地球温暖化防止のための取組が実践されていました。昼食後、参加者の交流会がありました。その中で、草木ダム管理所長も挨拶し、水源地でのこの活動に感謝するとともに、草木ダムや草木湖にも足を運んでいただけるようPRしました。

【緑がなく、土と石ばかりの山】



【協力して植樹をしました】



【根元を覆って生育を待ちます】



【こちらは籾殻で覆いました】



【昨年の植樹も元気に育っています】

